

高城新聞

休刊 大祭 第二日 月
定価 五十銭 郵税 十銭
廣告料 二行半 毎日 十銭
發行所 高城新聞社
印刷所 高城新聞社
電話 二二九番

驛名の假名遣

城山 國粹男 投

諸新聞によれば、小川鐵道は「國粹」の横車一
道大臣は近年日本の文化を著し立てたが、日本の
無視して書き換へられた地名は日本の國貨であつて
鐵道局長の日本文化に一目下同社が主催してゐる日
致するやう即時改正すべしと本名實展覧會に出陳せら
れたいといふ。實に喜ばしいことであるといふことを
ことごとく各鐵道局長に厳命せられたといふ。實に喜ば
しいことである。例の愚劣なる小川鐵道局長は、
新聞記者どもは例によつて、その假名遣ひの破損し
たる如く之を嘲笑弄弄してゐるが、そんなことには
着しない、断乎として断つては貰ひたい。

龍月夜

平町 加藤雲呼

近頃の鐵道省にはよく、
「輕佻浮薄な役人が、
言はれると、之に之を採
用しようとするが、文部省
國語調査會「假名遣ひ案」
いひ左書き論者といひ實
際採用すべきものであつて、
計を訂正する爲に餘計な
経費を要するのである。

讀者欄

ラジオの普及

農村に對するラジオの普及
及は都會に比較して、
「發達の餘地」充分に
「實際生活上ラジオの
必要は都會人よりむしろ
農村にあると思ふ。

仕入物注意の事▲九紫
事成るに近づく運の鈍
る日宿脚一番せよ
「可愛い妻の最後の言
葉」
あゝアは思ひ出すだけで
悲しい、たりん！お前は
僕一人残していつたのだ
僕はずい後を追ふまで
決心した
それ程お前が戀しかつた
しかし僕が死んだ時
残された父や母のなげき
を思へば
神様は死を許して下さら
なかつた
おひん！許して呉れ
死よりもつらい僕の心を
察して
信吉は一人でつぶやき
一人下泣いた
沖でもかめが悲しげに鳴
いた
トポトポトポト！
重い足どりを我家に
龍月夜の影法師と
二人連歩き續けた

「誰せう」と雪江も笑つ
て行つて、
「あなたね、私と兄さまとの
仲をとりもつて下さつたの
は、頭を真赤にして白汗の汗
ふきをかざしたに、
な、めに突伏してしまつた
その耳許へお君は口を
つて行つて、
「雪江、安心してからつ
て、
「あなたね、私と兄さまとの
仲をとりもつて下さつたの
は、頭を真赤にして白汗の汗
ふきをかざしたに、
な、めに突伏してしまつた
その耳許へお君は口を
つて行つて、
「雪江、安心してからつ
て、



「酒屋三三、豆腐屋に二
底地を得ないやうな名
士大家の講演を聞き、
してこれに接し得た
一流大家の藝術を味はふこ
とのできるラジオといふ
文化施設の恩恵による
「あなたね、私と兄さまとの
仲をとりもつて下さつたの
は、頭を真赤にして白汗の汗
ふきをかざしたに、
な、めに突伏してしまつた
その耳許へお君は口を
つて行つて、
「雪江、安心してからつ
て、

お花見には
瓶詰
△先約五千ケ限り 益付
△花見手拭付二合瓶詰 三十銭
永山酒造店總發賣元
平町四丁目 電話二〇七番

貨切自動車の御用命は
昭和タクシーへ
高級車で乗心地の好い
昭和タクシー
電話は 三四三番

上田醫院
電話二二九番

蜂ブドウ酒

人生の最大な歡喜は、一家揃つて健康
なることであり、美はしき皮膚の
輝彩と、魅力ある健康と美とを創造す
る蜂ブドウ酒の食前常用は、人間生活
をヨリ光明へ、ヨリ幸福へと導く
唯一の捷徑であります。

贈禮健康

江戶前料理

花見折詰 金廿錢より
スシ折詰 金廿錢より
設備も完全に出来ました江戶前の職人
を以て調理しお客様に満足を得る様努
めます

平二魚 電話六三三番

安全第一

諸債券、公債ノ御用入迅速簡易ヲ
モットトスル弊店ヲ精ニ御利用ヲグサイ

勸業債券 兩替
復興債券 金融
公債其他 取扱

店商井田多 町工大町平

木村外科醫院

電話三〇九

外科一般 (入院隨意)
内臓外科専門
花柳病科
平町六丁目(橋際)

雨か？嵐か？
けふ最後の折衝
五對五に見るは無理
大敷網事件経過

小名濱大敷網問題は高橋側が吐理をせよと高橋側が要求する要求により一理由にあらざるが故に高橋側が第一回見解に於いて角の仲裁をせよと高橋側が要求する要求を以てしては仲裁の可能を失ふ許りてな

千葉判事に
御禮言上
鈴木小名濱長
小名濱町長鈴木長氏は大敷網漁業の紛擾は實に直接に産

少年法記念日に
平署の不良取締
原因は近く家庭に在る
猪狩署長の談

平町有権者
三九四六
町當局の用心
平町町會議員改選は五月三日

河童の川流
漁夫沖で往生
石城郡江名町の作漁船中

平局電話
架設料を値下
平郵便局に於ける特設電話

汽車火事
直ちに消止む
十六日午前九時四十九分

理髮總會
廿六日植田で
廿六日植田で

小名濱港
起工式
長官會議後

中堅農民同盟
けふ部衛に協賛
石城郡中堅農民同盟會

小川江の堰普請で
種播きが出来ぬ
善後対策に應心

平の櫻眞盛り
連日不夜城の松ケ岡に
人か花の新川畔
連日連夜 空地もなげ

防火設備の家に
縣稅を免除せよ
來る縣下消防大會に

井上組頭の建議
消防組頭井上茂作氏は來

小名濱港
起工式
長官會議後

中堅農民同盟
けふ部衛に協賛
石城郡中堅農民同盟會

小川江の堰普請で
種播きが出来ぬ
善後対策に應心

元平銀行關係
送別會
廿日末廣亭に

内臟外科
整形外科
骨關節外科

平町新川町
婦人科
木村寅次郎

靴製造ト修繕
並に附屬品一切
大勉強

深谷卯三郎靴店
平町堀内三三電話呼出六六五

白馬の御用命
芳醇銘酒
辰ノ口本家
電話(平)七五二一番

自動車大破
平町二丁目自居自動車運轉

猪狩
高野虎三郎
水野虎三郎
磐城新聞社

猪狩
高野虎三郎
水野虎三郎
磐城新聞社

猪狩
高野虎三郎
水野虎三郎
磐城新聞社

猪狩
高野虎三郎
水野虎三郎
磐城新聞社

猪狩
高野虎三郎
水野虎三郎
磐城新聞社

猪狩
高野虎三郎
水野虎三郎
磐城新聞社

猪狩
高野虎三郎
水野虎三郎
磐城新聞社

猪狩
高野虎三郎
水野虎三郎
磐城新聞社

猪狩
高野虎三郎
水野虎三郎
磐城新聞社

趣味 金魚の話
用心せぬと絶滅の懼れ
金魚と言へば先づ獅子頭でも判りやうに琉球から傳